

平成 26 年 11 月 22 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 松野 豊 様

議会報告会 1 班
班長 田中 人実
笠原 久恵
菅野 浩考
松田 浩三
根本 守
小田桐 仙
青野 直

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 26 年 11 月 16 日（日）
午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分
- 2 場所 向小金福社会館
- 3 欠席議員 1 名（根本 守議員）
- 4 参加者数 9 人
- 5 報告内容

青野議員より：決算の概要について

笠原議員より：東部地区の学校施設等について

6 意見交換内容

向小金小学校の増築工事の概要について

資料では2階建てで6教室を増築します。
そのうち2教室を学童クラブとすることになっています。

議会インターネット中継の視聴者の数について。

利用者は多くは無いが着実に増えています。
費用対効果では図れない必要な施策です。

避難所となる学校施設等について 50年以上経過した物は改修では無く建て替えを考えるべきです。議員の考えについて。

学校施設の耐震工事は完了しています。避難所についてコミュニティホームは避難所から解除しました。
140億円もかかる小中併設校と既設校の格差是正について議会から市に指摘要望しています。人口増加のピークは10年後。そのあと減ってゆくことを視野に入れて取り組んでいかなければなりません。

名都借の跨線橋についての改修概要について。取り付けられるエレベーターの大きさについて。

現在、跨線橋中央部は相互通行で坂の部分が片側通行ですが、今後は全体が相互通行となります。歩行者は松戸側に歩道を設置いたします。取り付けられるエレベーターは大きなものを予定しています。

東小学校や東部中学校への通学路の整備状況について。

道路の線形の変化はありませんが、歩道の拡幅・整備を行い通学児童・生徒のより安全な通学路を確保することになります。

25年度に配備された救急車について。

今回の高規格救急自動車は新築された南消防署に配備いたしました。

朝日新聞によると居所不明児童のことが出ていた。流山市での実態について。

平成 26 年 6 月には 9 名。その後 6 人が判明し、残り 3 人のうち 2 名が日本に入国していません。最後の 1 名は面談の後全容が判明したところです。現在の居所不明状態はありません。

職員による公金使い込み問題について。議会での対応について。

市の調査は終了しています。二重・三重のチェック体制が必要と考えます。議会としての対応は、任命者、管理者である市長・副市長の報酬を 10 パーセント 3 ヶ月カットで提出された議案を甘すぎる処分であると指摘して議案議案が出され、採決の結果報酬 10 パーセント 6 ヶ月カットとさらに重い裁きを下したところです。

ぐりーんバス等の具体的な施策について。

(頻繁に平和台に来る用事があるのですか)という誰某の発言を大変問題視する！。発言に注意されたし。と厳しい意見がなされた。

東部地区の道路は狭隘で、対応に苦慮している状況です。誰某の発言に対しては議員がそれぞれ個別に対応し抗議いたします。

街の美観について。空き家問題、落葉や枯葉、空き缶やたばこの吸殻について。

市民の環境に対する意識の問題が大きいのと思います。各自治会単位で工夫して啓発に取り組んでいるようです。議会としても対応を考えてまいります。

最後に。議会だよりを読みやすいと思うようにリニューアルしました。皆様の意見をお聞かせください。と議員から投げかけました。

7 参加者から議会への要望

学校施設などは耐用年数があるから建て替えは避けられないけれど一箇所に集中するのではなくて分散配置すべきである。議会から市に強く要望して欲しい。先行き人口が減る。孫子に負担を求めないよう要望いたします。

名都借の跨線橋に取り付けられるエレベーターは電動車いすや子育て世代が使用する 3 人乗り自転車も充分乗れるようなものとなるよう市に要望して欲しい。

中学校にエレベーターが設置されたが最近中学生の体力が落ちていると聞いている。障がい児童生徒を介助する利用であればよいのだが実情はどうか。利用の実態を調べるよう要望いたします。

8 所感

今回は市民参加が実質的に 5 名。少なくて残念でした。しかし、市民との意見交換は市民に威圧感を感じさせるような雰囲気ではなく大変和やかに進んだと思います。東部地区を歩いてみて東部地域特有の地域課題があることもわかりました。議会報告会を通じて地域課題についてもっと議員間の意見交換が必要であると感じました。